

みなさんはモンゴル・ツアーにどんなことを期待しますか。「豊かな大草原」あるいは「素朴な遊牧民」あるいは「のどかな遊牧生活」でしょうか。モンゴルにいけば、もちろんそんなイメージ通りの世界が目の前にひろがります。でも、現実はどうでしょうか。一見豊かに見える草原ですが、その周辺では砂漠化がすすんでおり、また水質汚濁などの環境問題をかかえている地域もあります。モンゴル人は顔立ちが日本人とそっくりなこともあり、すぐにうちとけ、ずっとむかしから友人だったように錯覚してしまうこともあります。だからといって、ハルハ河戦争（ノモンハン事件）や内モンゴル東部が満州国の一部になっていた歴史が忘れさられたわけではありません。また、夏の草原とその暮らしかをみていると、マイナス 40 度にもなる厳寒の冬、雪と氷に閉ざされた自然の中で遊牧民がどんなくらしをしているか想像するのはむずかしいかも知れません。政治・経済・社会の激動期にある現在、モンゴルの人々は日々どんなことを思っているのでしょうか。

今年の夏はモンゴルの大自然の中でいい空気をたっぷり吸って夢をいっぱい見ましょう。同時にモンゴルの現実にもすこし目をむけてみてください。草原と遊牧以外の別の面がすこしわかり、モンゴルがみなさんにとって第二の故郷とよべる場所になればこのツアーは大成功だと思います。そんな、こんな思いをいっぱい詰めこんでこの旅をつくりました。始めから終わりまでドキドキするモンゴル・ツアーです。

（富士ツーリスト『きらめきツアー』向け原稿）